

## 第 4 回

加賀市統合新病院建設計画検証委員会

資 料

平成26年2月17日

# 目次

資料①	委員要望資料一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
資料②	統合新病院の機能向上に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
資料③	病児・病後児保育事業等の実施状況に関する資料・・・・・・・・・・	P 6
資料④	県内・市内の産科医療の状況に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7
資料⑤	統合新病院の財政に与える影響に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・	P 8
資料⑥	新病院建設地の決定の経緯に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 9
資料⑦	観音温泉への交通アクセスに関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P10
資料⑧	建物費用の増加要因に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P11
資料⑨	後年度に企業債のみで建設した場合の負担額に関する資料・・・・・・・・	P12
資料⑩	市民病院現地建替えに関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P14
資料⑪	必要病床数に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P17
資料⑫	周辺の道路に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P18
資料⑬	医師の招へいに関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P19
資料⑭	全室個室に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P22
資料⑮	地域医療再生基金に関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P24
資料⑯	検証の骨子（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	【別紙】
資料⑰	加賀市統合新病院建設計画検証委員会 開催日程について・・・・・・・・	P25

## 委員要望資料一覧

## ・第4回委員会 議事(1) 資料

資料番号	要望資料	要 旨
資料②	統合新病院の機能向上に関する資料	統合新病院建設計画に関する「市民の意見を聞く会」での市民の発言による資料。
資料③	病児・病後児保育事業等の実施状況に関する資料	
資料④	県内・市内の産科医療の状況資料	
資料⑤	統合新病院の財政に与える影響に関する資料	
資料⑥	新病院建設地の決定の経緯に関する資料	
資料⑦	観音温泉への交通アクセスに関する資料	
資料⑧	建設費用の増加要因に関する資料	
資料⑨	後年度に企業債のみで建設した場合の負担額に関する資料	
資料⑩	市民病院現地建替えに関する資料	第3回委員会追加資料。 停電、騒音が医療、療養に与える影響。
資料⑪	必要病床数に関する資料	第3回委員会追加資料。 2025年の必要病床数。
資料⑫	周辺の道路に関する資料	第3回委員会追加資料。 国道8号の事業スケジュール、進捗率。
資料⑬	医師の招へいに関する資料	第3回委員会追加資料。 医師招聘の具体策。医師給与の比較一覧。
資料⑭	全室個室に関する資料	第3回委員会追加資料 個室差額料についての資料。個室によるコスト。
資料⑮	地域医療再生基金に関する資料	伊関副委員長追加要望資料。 地域再生基金交付の経緯。

## ・第5回委員会資料

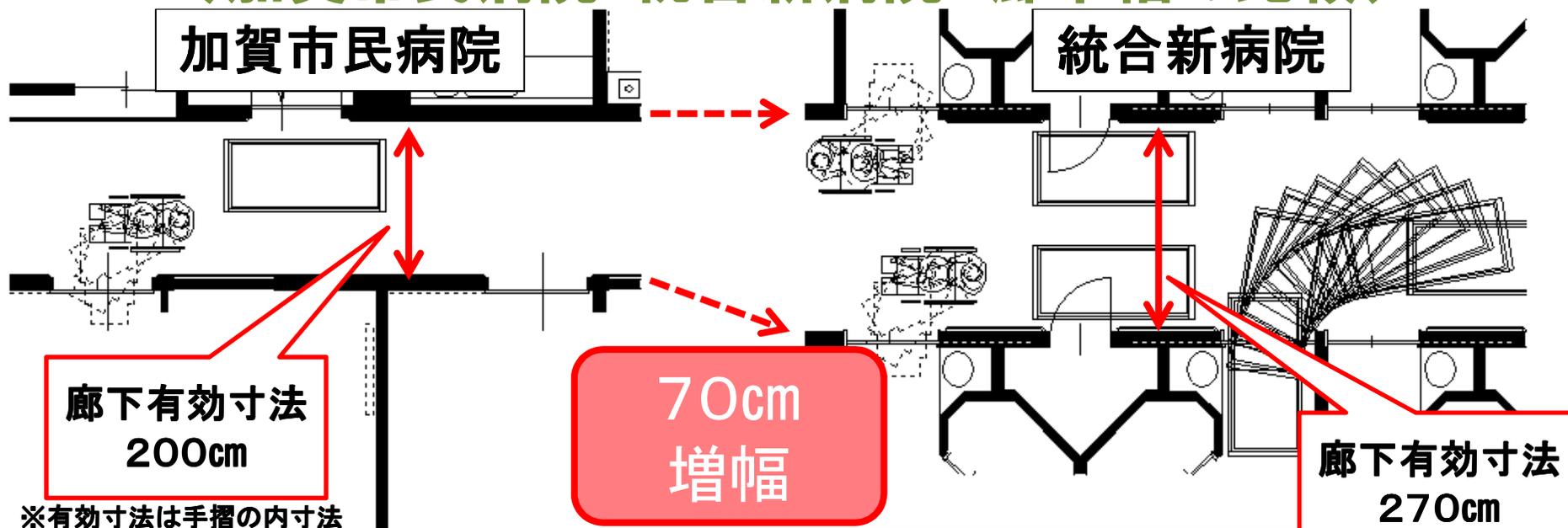
次回資料	経営シミュレーション	第3回委員会追加資料 長期修繕計画、最低限の医師数を反映したもの。
------	------------	--------------------------------------

# 統合新病院の機能向上

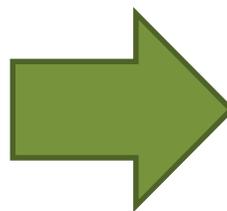
資料②

	現病院(加賀市民病院)の課題	新病院の機能向上
患者・家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 駐車場が少なく、数箇所に分散しているため、駐車場を探し回る車や離れた場所に駐車する車が多い。</li> <li>② 敷地が狭い中で、増築や改修が行われたため、外来部門の配置は分かりにくく、2階にあることから、移動の負担も大きい。</li> <li>③ 車寄せが小さく、バスやタクシーの待合スペースも屋外にあるため、冬季や風雨の際は利便性が低い。</li> <li>④ 病室は大部屋を中心としているが、プライバシーや個人の空間を大切にしたいという意識から、多くの人がカーテンを閉めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 十分な駐車台数を一団の場所に確保しているため、空車の位置も分かりやすい。</li> <li>② 外来部門は1階のホスピタルストリートに沿って配置しているため、分かりやすく、移動の負担も少ない。</li> <li>③ 大きな車寄せを設置し、待合スペースも屋内に設置しているため、冬季や風雨の際も利便性が高い。</li> <li>④ プライバシーが守られ、家族と気兼ねなく過ごせる空間とするため、病室は全室個室。</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 仮眠室は医局や勤務場所から離れた位置に分散しているため、利用しにくく、室数も十分ではない。</li> <li>② 研修室や会議室が不足し、十分な教育環境が整備されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 仮眠室は医局や勤務場所に近く、比較的静かな場所に集約し、室数も十分に確保。</li> <li>② 研修室や会議室以外にも実習を行える臨床研修室や公開講座も開催できる多目的ホールを整備。</li> </ul>
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 免震構造では無いため、建物の損傷や機器等が転倒する恐れがある。</li> <li>② 水や電気を確保するための十分なバックアップ体制が整備されていない。</li> <li>③ 多くの負傷者が運ばれた場合のスペースや設備が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 免震構造であるため、地震後も継続して医療が行える。</li> <li>② 井戸水を使用できる設備の設置や自家発電機の燃料を7日分備蓄するなど、十分なバックアップ体制を確保。</li> <li>③ 十分なトリアージスペースと医療ガス設備やコンセント設備を設置。</li> </ul>
将来対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 敷地が狭いため、増築や改修のスペースが不足している。また、柱スパンが短いため、改修の際に、大規模な工事が必要。</li> <li>② 改修以外の部分にも停電や断水等の影響が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 敷地が広いため、増築や改修をスムーズに行える。また、柱スパンを長くすることで改修も容易。</li> <li>② 部門毎に分電盤や止水弁を設置し、改修以外の部分への影響は少ない。</li> </ul>
医療安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スタッフ通路と患者通路が混在し、衝突や接触する危険性が高い。</li> <li>② 廊下幅が狭く、手摺が無い場所もある。また、病室からトイレまでの動線が長く、接触や転倒の危険性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スタッフ専用通路を設けるなど、患者の動線と極力交錯しない計画。</li> <li>② 広い廊下幅を確保し、切れ目の無いよう手摺を設置。また、各病室にトイレを設置し、トイレまでの動線を短縮。</li> </ul>

# バリアフリーの状況 (加賀市民病院・統合新病院 廊下幅の比較)



ベッドがすれ違えない



ベッドがすれ違える

聴覚障がい者及び外国人への対応 (南加賀地区の公立病院)

項目	病院名	加賀市民病院	山中温泉医療センター	石川病院	小松市民病院	能美市立病院
手話のできる専属スタッフを組織として配置しているか		していない (H26年度からは 1名配置予定)	していない	していない	していない	していない
個人で手話を勉強しているスタッフの有無とその能力		3名程度 簡単な会話のみ可能	以前に7名程度サークルに通ったものがある 現在どの程度できるかは不明	把握できていない	把握できていない	把握できていない
手話の必要な人の来院状況		各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い
手話の必要な人への対応状況		市の手話通訳者に依頼 手話可能なスタッフが担当する業務については、その者が手話にて会話	市の手話通訳者に依頼 院内スタッフによる筆談	特別何もしていない	外部の手話通訳者に依頼 院内スタッフによる筆談	特別何もしていない
外国語を話せるスタッフを組織として配置しているか		していない	していない	していない	していない	していない
外国語を話せるスタッフの有無		英語2名	英語2名	いない	英語1名	いない
外国人の来院状況		各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い	各人が代わりに話す人を伴って来院するケースが多い
外国人への対応状況		上記スタッフが対応、もしくは市の関連部署に協力依頼	上記スタッフが対応、もしくは市の関連部署に協力依頼	複数の外国語対応のマニュアルを使用	複数の外国語対応のマニュアルを使用 中国人などは漢字での筆談	特別何もしていない

## 兵庫県立淡路医療センターのバリアフリー状況

分類	バリアフリー状況
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者等が利用できる駐車区間がある。</li> <li>・障がい者等が円滑に利用できる駐車区間がある。</li> </ul>
敷地内通路 (建物前)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の主な外部出入口前が平坦。</li> </ul>
主な外部出入口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の主な外部出入口が自動ドアである。</li> </ul>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋式トイレがある。</li> <li>・乳幼児のおむつを交換できる台がある。</li> <li>・障がい者対応トイレ(車いすで利用できるトイレ)がある。</li> <li>・オストメイト対応トイレがある。</li> </ul>
誘導案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内通路や建物内部に視覚障がい者誘導ブロックがある。</li> <li>・音声誘導装置や音声案内装置がある。</li> <li>・点字による触知案内板がある</li> <li>・受付案内所がある。</li> </ul>
昇降設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般用のエレベータがある。</li> <li>・車いす使用者対応エレベータがある。</li> <li>・点字表示又は音声案内付エレベータがある。</li> </ul>
乳幼児コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳室がある。</li> <li>・プレイコーナー・託児室がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出し車いすがある。</li> <li>・AED(自動体外式除細動器)を設置している。</li> <li>・診療室の個室化</li> </ul>

兵庫県庁ホームページより

# 病児・病後児保育事業の状況

(事業概要)

子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合、加賀市民病院、山中温泉医療センター等で病気の児童を一時的に保育する。

施設名	はとぼっぼ	このゆびとーまれ山中
運営主体	加賀市(直営)	公益社団法人 地域医療振興協会
所在地	大聖寺八間道 (加賀市民病院内)	山中温泉上野町 (山中温泉医療センター内) 及び動橋町
利用者	321人(H24年度実績)	1,445人(H24年度実績) (山中 1,120人 動橋325人)
事業費	5,600,706円(H24年度決算)	20,736,311円(H24年度決算)
うち市負担額	1,673,406円	6,050,000円
うち国・県費	3,346,000円	12,100,000円
うち利用者負担	581,300円	2,566,100円
うち設置者		20,211円

## 児童発達支援・放課後等デイサービスの状況

(事業概要)

【児童発達支援】未就学の障がいのある児童を対象に日常生活における基本的な動作指導、知識機能の付与、集団生活への適応訓練その他必要な支援を行う。

【放課後等デイサービス】障がいのある児童に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供する。

事業所名	キッズデイサービス センターゆめのわ	デイサービスセンター 楽(ジョイ)	デイサービス このゆびとーまれ山中
運営主体	社会福祉法人 幸徳園	社会福祉法人 南陽園	公益社団法人 地域医療振興協会
所在地	動橋町	潮津町	山中温泉上野町 (山中温泉医療センター内)
定員	10人	10人	10人
延利用人数 延利用日数	154人 1,580日	43人 515日	228人 1,434日
事業費	11,974,570円	4,195,150円	12,727,270円
うち市負担額	2,841,596円	1,018,826円	3,043,511円
うち国・県費	8,524,785円	3,056,476円	9,130,533円
うち利用者負担	608,189円	119,848円	553,226円

H24年4月提供分からH25年2月提供分の集計。

H25年4月に「デイサービスセンター楽(ジョイ)」が2事業所分割(定員10人×2か所)になった。

# 県内・市内の産科医療の状況

資料

## 県内産婦人科標榜施設数

医療圏	施設数	内訳		加賀市
		病院	医院	
能登北部	4	4		
能登中部	6	3	3	
石川中央	33	12	21	
南加賀	12	6	6	3(1)

※石川県医療・薬局機能情報提供システムより

注)加賀市の(1)は3の内数で現在分娩の取り扱いなし

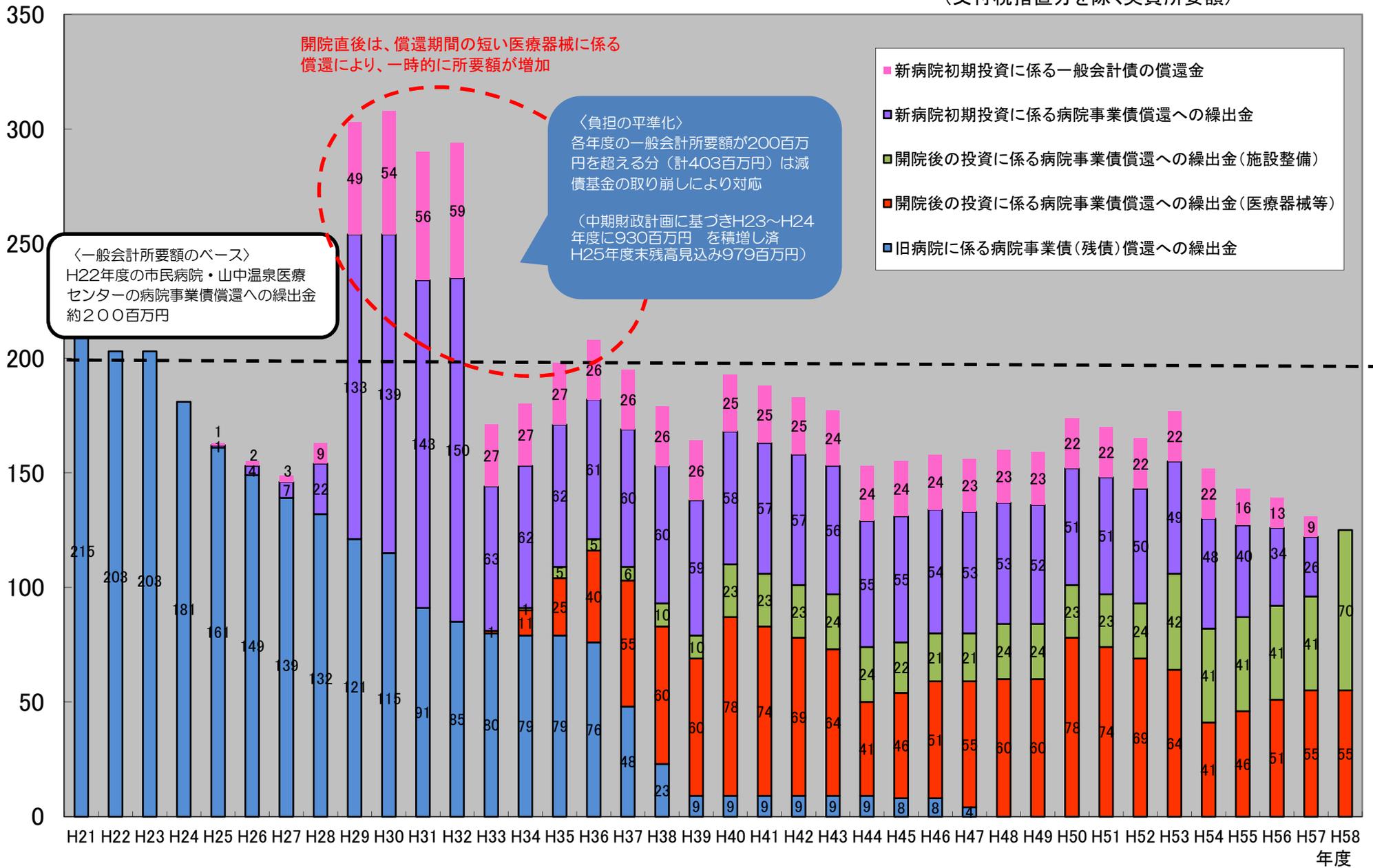
## 加賀市出生総数及び両病院の分娩件数

年度	加賀市 出生総数	加賀市民 病院	山中温泉 医療センター	両病院計	割合 (%)
19	553	0	139	139	25.1
20	541	83	7	90	16.6
21	527	77	77	154	29.2
22	527	71	77	148	28.1
23	470	55	82	137	29.1
24	488	47	68	115	23.6

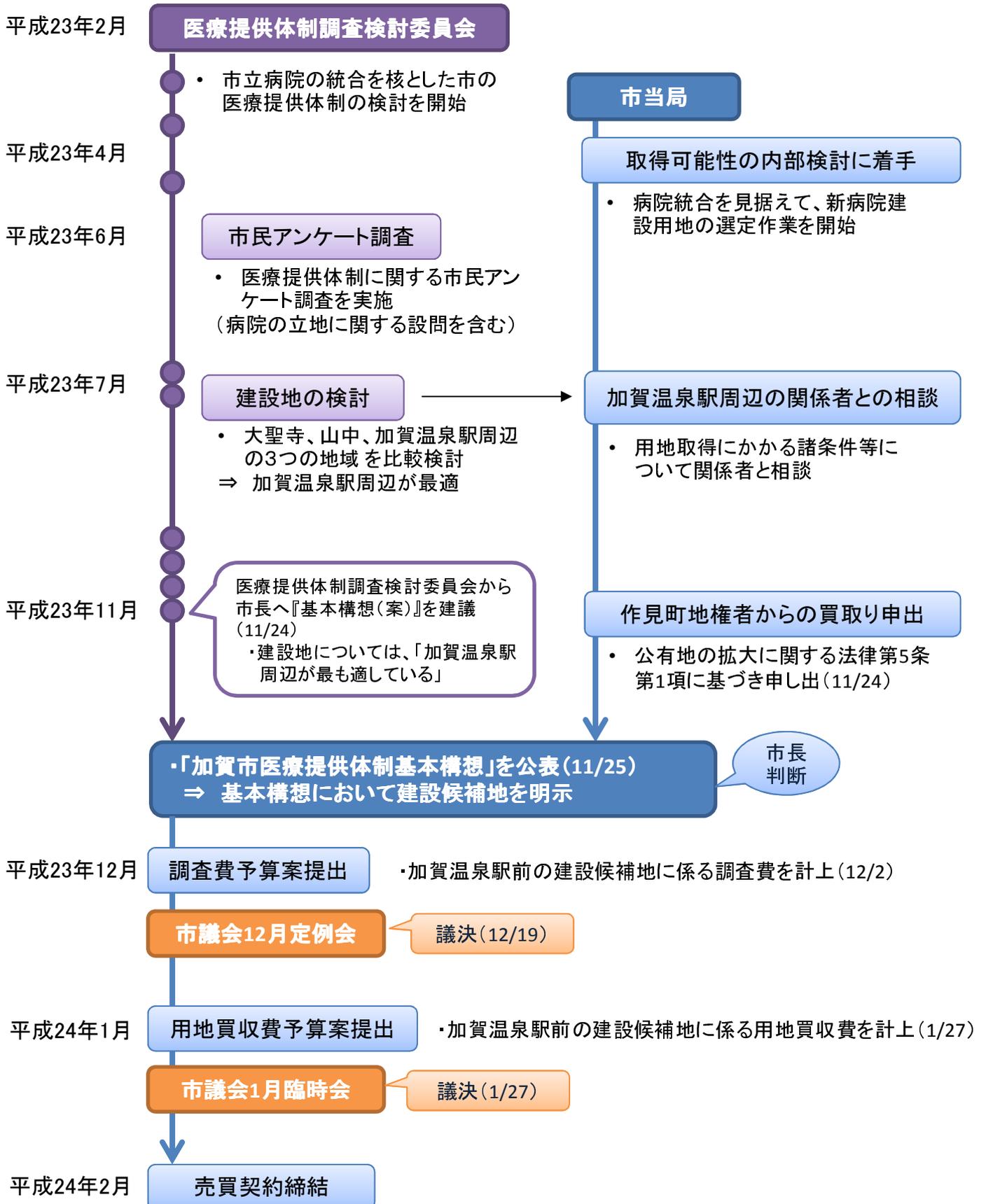
# 統合新病院の整備に係る一般会計の所要一般財源見込み

(交付税措置分を除く実質所要額)

百万円

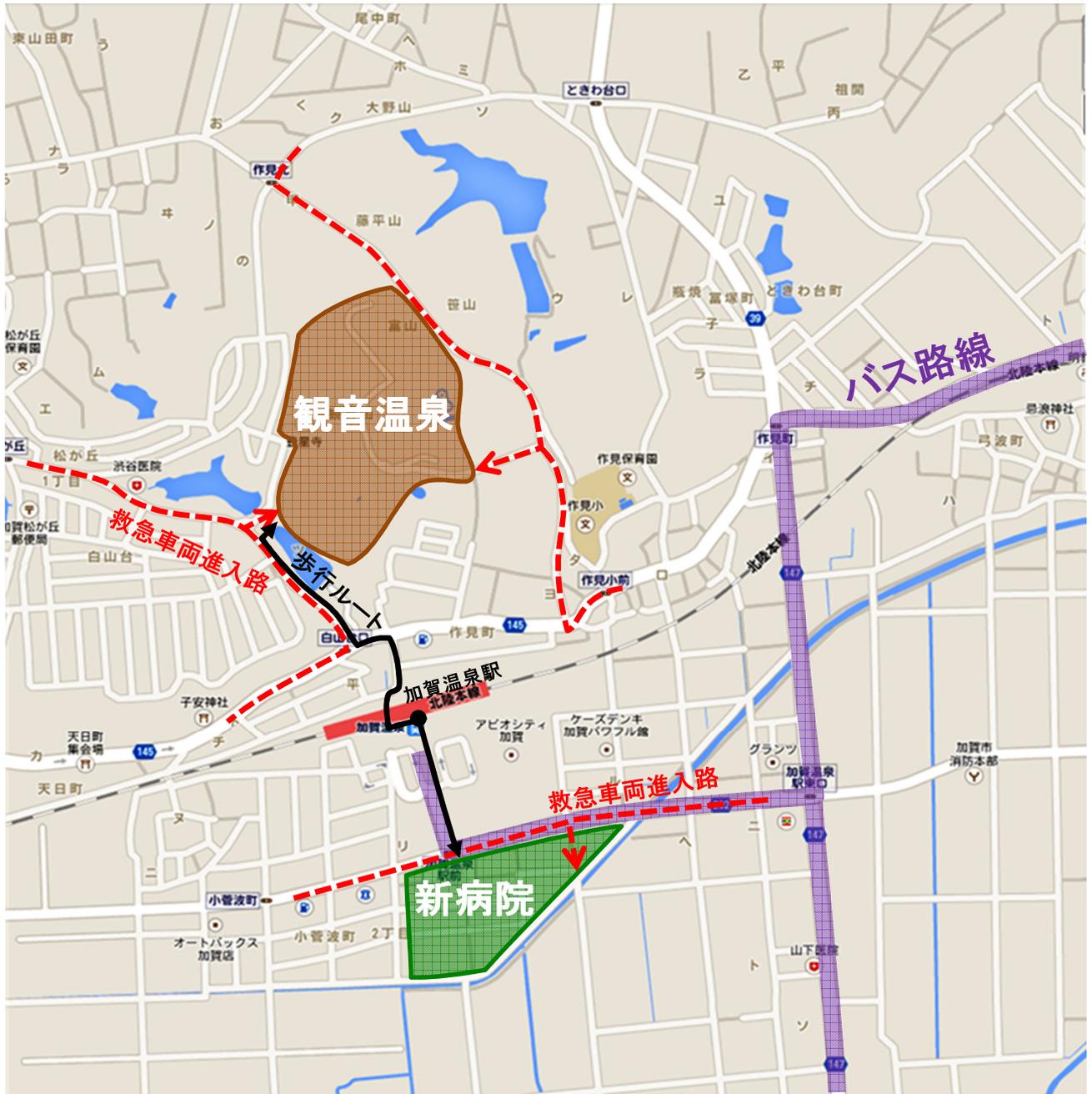


# 新病院建設地の決定の経緯(概要)



# 観音温泉への交通アクセス

資料⑦



比較項目	観音温泉	新病院
駅からのアクセス (徒歩の場合)	距離 約650m 高低差 約30m	距離 約230m 高低差 なし
路線バスの経由	既存ルート外	ルート前
接続道路	2車線	4車線
救急車両アクセス	町内生活道路走行	幹線道路走行

# 建物費用の増加要因(設計変更した場合)

資料⑧

変更内容(仮定)：一部設計変更とした場合(全体の40%)

## 設計費用

検討項目	見込み	費用(消費税8%)	備考
基本設計	再設計(3~6階)	+2,300万円	基本設計費の40%(面積按分)
実施設計	再設計(3~6階)	+5,500万円	実施設計費の40%(面積按分)

・設計費用として7,800万円の増額となる

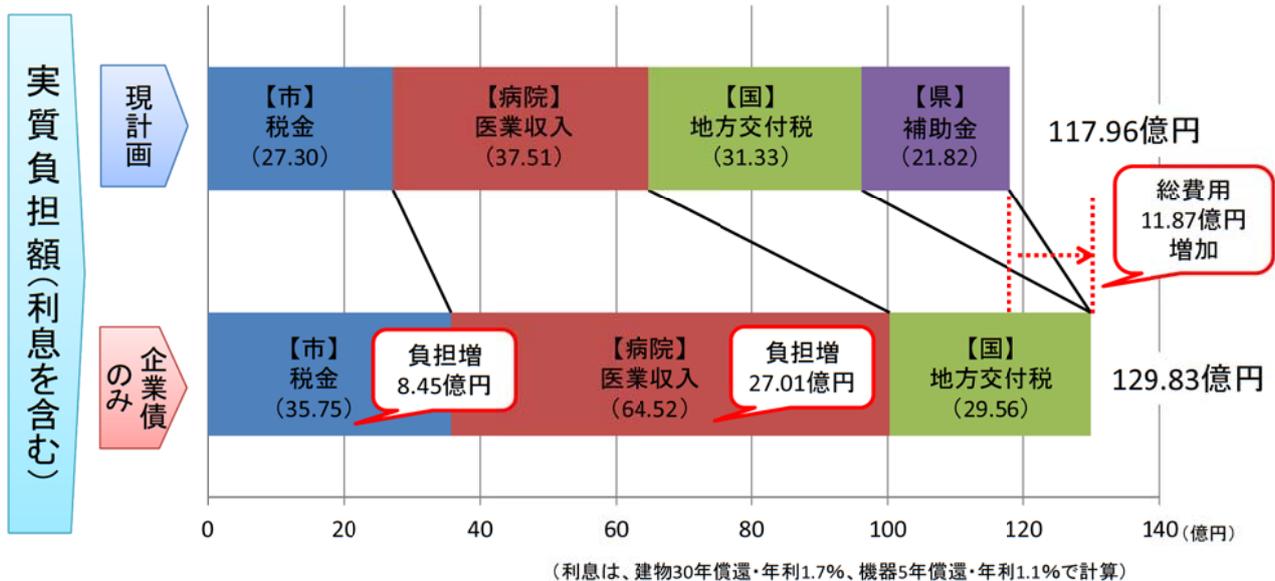
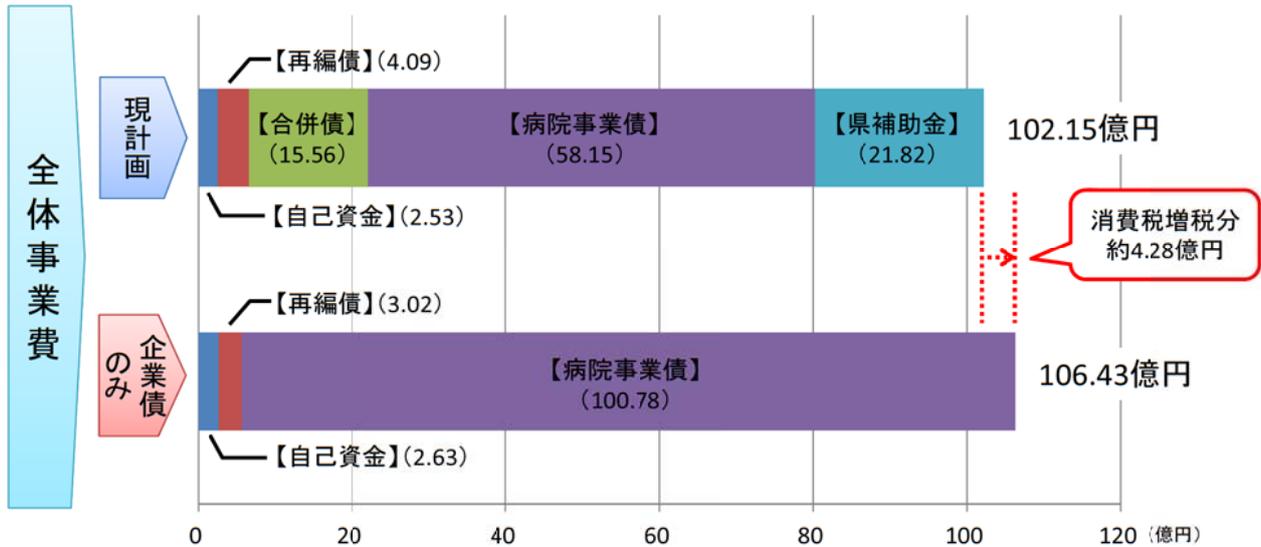
## 建設費用

検討項目	見込み	費用(消費税8%)	備考
工期	1年延期	+3,600万円	300万円/月(現場維持、人員確保)

- ・設計見直しに1年必要となり、現場維持費等として3,600万円の増額となる
- ・設計変更内容によっては建設費が減額とされない可能性もある

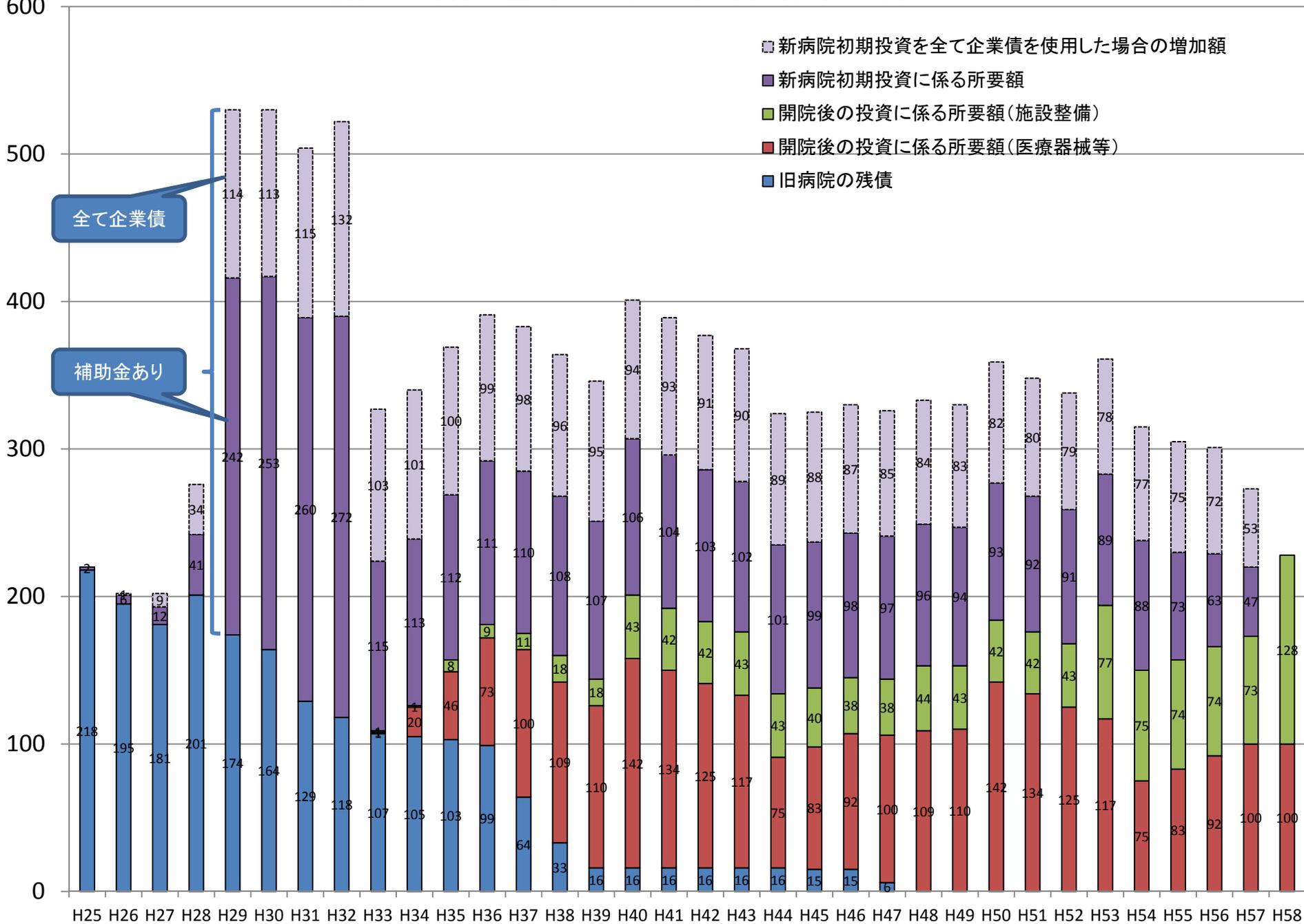
## 後年度に企業債(病院事業債)のみで建設した場合

事業費		財源	
用地取得費	変更なし	県補助金	21.8億→皆減
設計・工事費	消費税5%→10%	再編債	用地取得費のみ充当
医療機器	消費税8%→10%	合併特例債	15.7億→皆減
その他事務費	消費税5,8%→10%	病院事業債	42.6億増



# 統合新病院の整備に係る病院会計所要額の見込み

百万円



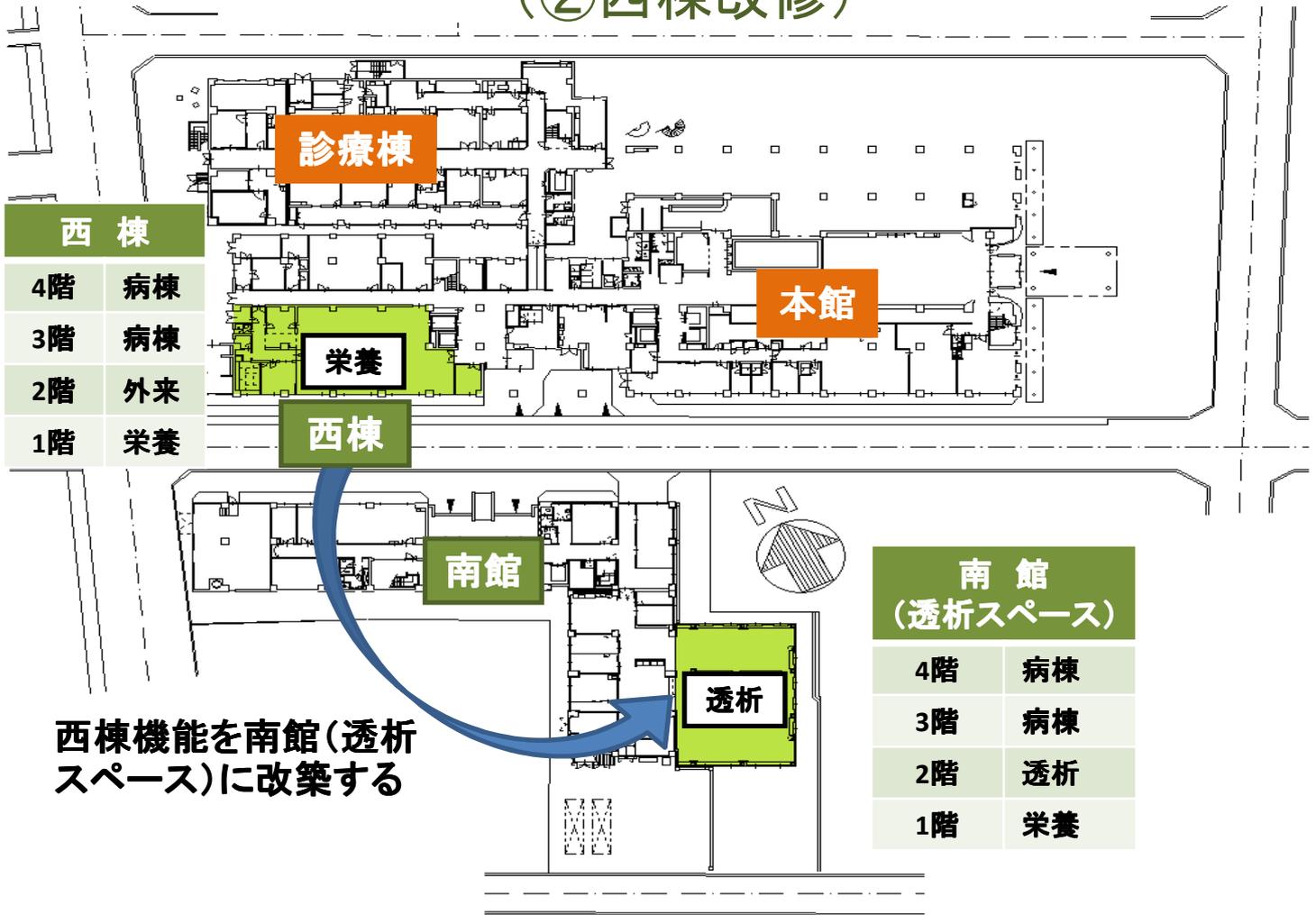
# 市民病院現地建替えについて

## (①診療棟改修)

### 診療棟改修時の問題点

- 診療棟には「手術・検査・放射線」の各部門があり、診療機能の重要な部分であり長期閉鎖できない。
- 放射線・検査・手術の各ブロックごとに移転改修が必要となるため工事費用が割高となる。
- 移転・改修のため工事期間が約2年程度と長期にわたってしまう。
- どれだけ配慮しても工期中は患者や職員には耐えがたい騒音、振動が発生してしまう。
- 工期中は使用できない避難施設、消火設備が発生し患者や職員の安全確保が難しくなる。
- 工事完了後にも容積率の関係から「閉鎖部分」を設けるなど何らかの対策が必要となり、機能的な配置とはいえなくなる。
- 容積率緩和などの対策については関係諸官庁との協議が必要であり不透明。
- 診療棟改修から5～15年後には西棟、本館の改修を行うことが必要となりその際にも同様な工法を取る必要がある。

# 市民病院現地建替えについて (②西棟改修)



## 西棟改修時の問題点

- 工期中の食事は外部より配送となる。
- 工期中は一部病室が減るため、入院が制限される。
- 各ブロックごとに移転改修が必要となるため工事費用が割高となる。
- 移転・改修のため工事期間が長期にわたってしまう。
- どれだけ配慮しても工期中は患者や職員には耐えがたい騒音、振動が発生してしまう。
- 工期中は使用できない避難施設、消火設備が発生し患者や職員の安全確保が難しくなる。
- 栄養部門が別館となりまた、病棟も分散されるため食事の配送は機能的な配置といえない。

## 病室内騒音許容値

各種用途における室内騒音の許容値

※ 日本建築学会編「建築設計資料集成より」

dB(A)	20	25	30	35	40	45	50	55	60
うるささ	10~15	15~20	20~25	25~30	30~35	35~40	40~45	45~50	50~55
会話・電話への影響	無音感		非常に静か 声が聞こえる		特に気にならない 電話は支障なし		騒音を感じる 電話は可能		騒音を無視できない 電話やや困難
5m離れたささやき									
10m離れた会議可能									
普通会話(3m以内)									
大声会話(3m)									
電話やや困難									
スタジオ	無響室	アナウンス スタジオ	ラジオ スタジオ	テレビ スタジオ	主調整室	一般事務室			
集会・ホール		音楽堂	劇場(中)	舞台	映画館・プラネタリウム	ホールロビー			
病院		聴力試験室	特別病室	手術室・ 病室	診察室	検査室	待合室		
ホテル・住宅				書斎	寝室・客室	宴会場	ロビー		
一般事務室				重役室・ 大会議室	応接室	小会議室	一般事務室		タイプ・ 計算機室
公共建物				公会堂	美術館・ 博物館	図書閲覧	公会堂兼 体育館	屋内スポーツ施設(拡)	
学校・教会				音楽教室	講堂・ 礼拝堂	研究室・ 普通教室	廊下		
商業建物					音楽喫茶店	書籍店	一般商店		
					宝石店・ 美術品店	レストラン	銀行	食堂	

### 加賀市民病院 該当地域の騒音・振動の基準値

#### 【時間帯による騒音基準値】

午前 6時から午前 8時まで : 45dB

午後 7時から午後10時まで : 45dB

午後10時から午前 6時まで : 50dB

午前 8時から午後 7時まで : 55dB

エアコンの室外機を静かな事務所で感じる程度

#### 【時間帯による振動基準値】

午前 8時から午後 7時まで : 60dB (55dB~65dB...震度1程度)

午後 7時から午前 8時まで : 55dB

地震に敏感な人だけが感じる程度

上記の基準値ではどんな工事也不可能になってしまうため、工事の際は届出により下記のような規制値の特例が設定されます。

### 特例による騒音・振動の基準値

#### 【特定建設作業での騒音・振動基準値】

午前7時から午後7時まで : 騒音...85dB

午前7時から午後7時まで : 振動...75dB

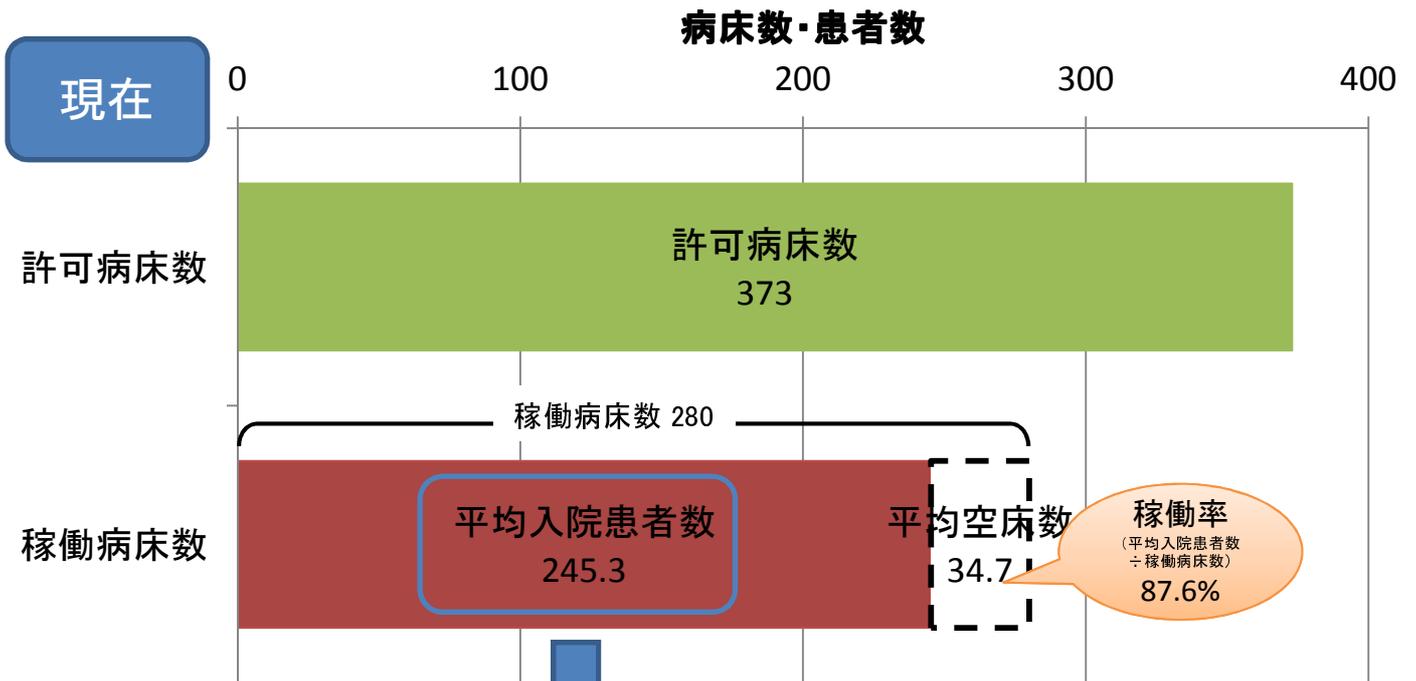
どれだけ配慮しても工事中は患者や職員には耐えがたい騒音、振動が発生してしまう...

● 騒音・振動値の目安  
※測定...機側から15m(騒音)  
機側から10m(振動)



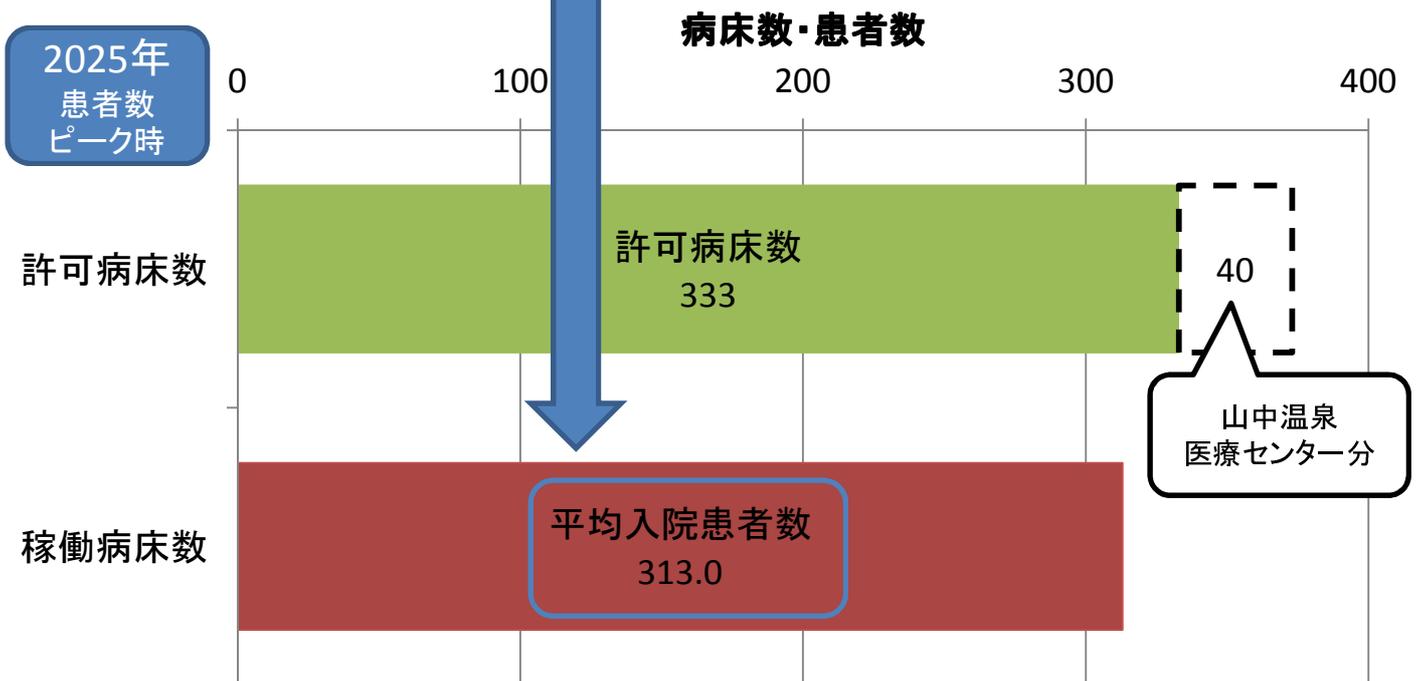
# 将来患者見込みについて（療養病床）

資料⑪



出典: 加賀市調べ  
 (許可病床数・稼働病床数は平成26年1月現在。  
 平均入院患者数は各病院で直近で確認できる数値)

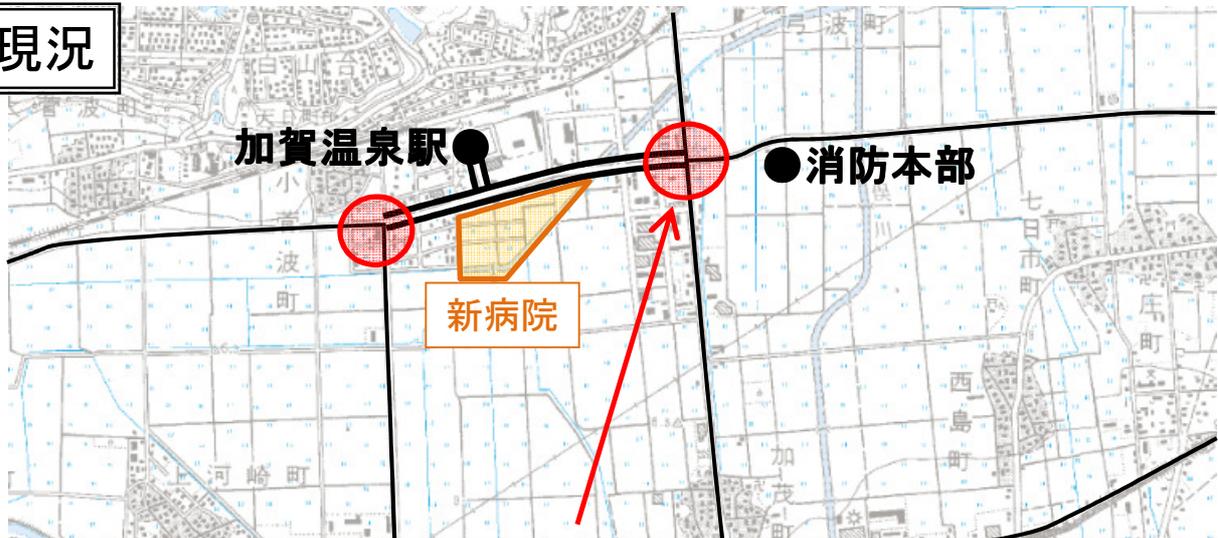
**27.6%増加と仮定**  
 (将来患者見込み(第3回会議資料③)において最大増となる「2025年・呼吸器系の疾患」の増加率で計算)



・全患者の増加率は12.1%であり実際にはここまでは増えないと思われる。

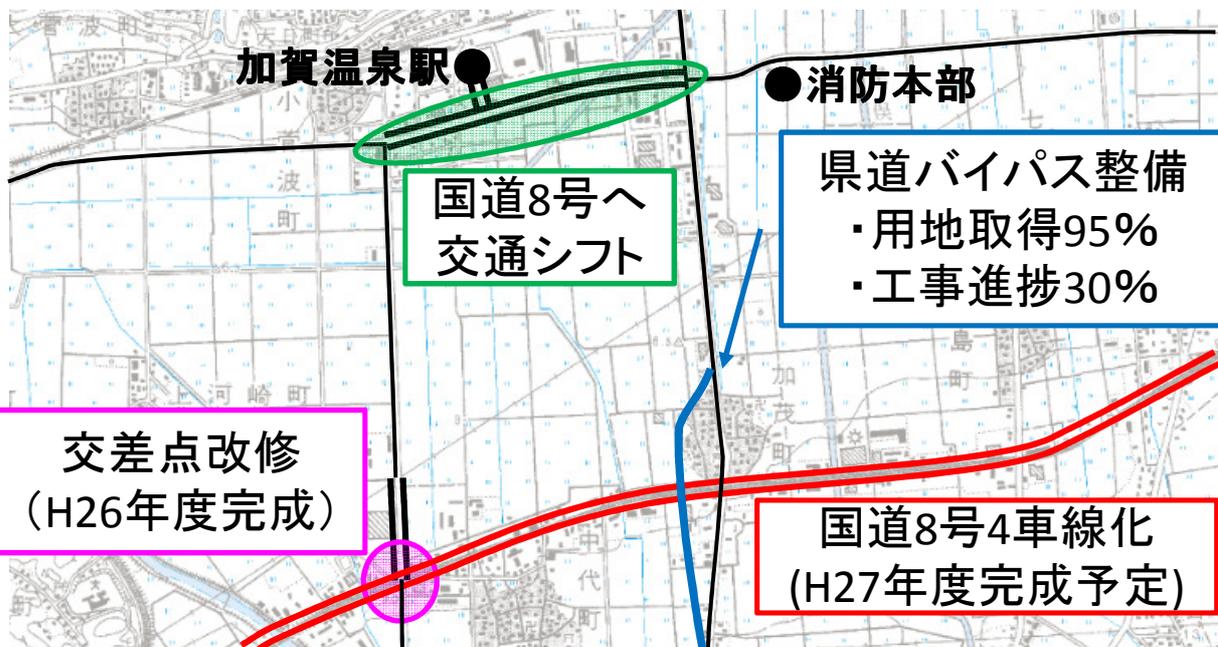
## 新病院周辺の道路状況

現況



朝夕の通勤時に交差点で2回信号待ちとなる場合もあるが、病院利用車両(2,000台/12h)が増加しても、現在の道路規格で対応できる

国道8号整備後



国道8号の4車線化と周辺道路整備により病院前道路の交通量が減少する

# 医師の招へい策について

## 1 現在までの取り組み状況

### (1) 大学との連携強化

医局(教授等)面談実績(H25年11月以降)

市長 延べ4名、病院長・事務長 延べ14名

来年度も、現状と同様の医師派遣について約束をいただいている。

### (2) 地域外の医師との接触

平成25実績 約20名

好感触の医師について継続して訪問

### (3) 魅力ある病院づくり

医師の評価制度と評価に見合う新規手当制度の構築

H26からの実施に向け検討中

### (4) 市民の医療に対する理解と協力

出前講座の開催(H25実績 市内4地区)

## 2 今後の体制

- 医師の招へいについては、喫緊の課題として、全庁あげて取り組んでいく!
- 市長をトップとし、全庁的に推進するための体制を構築

### ※(仮称)医師招へい推進本部の設置

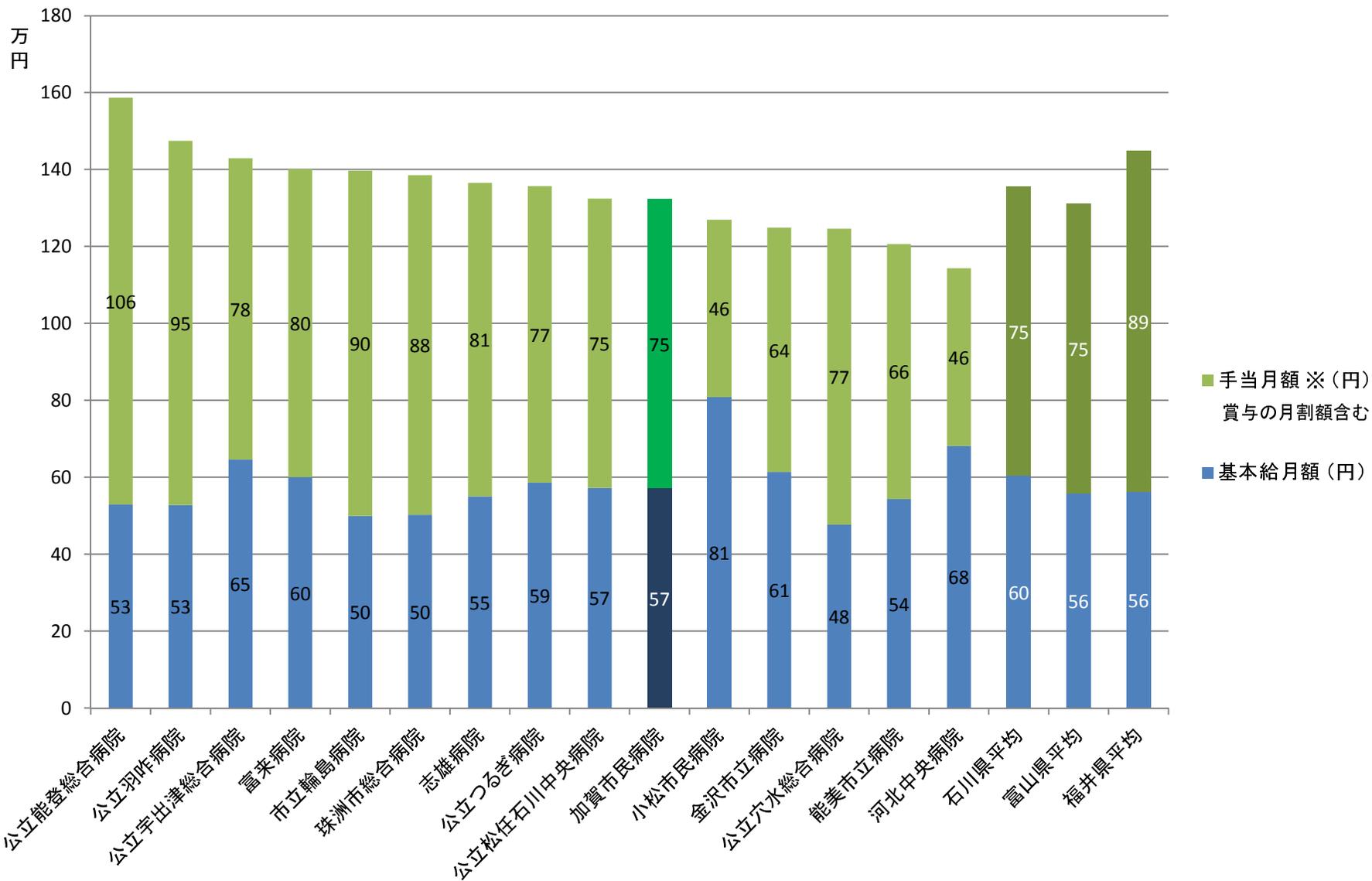
医師が加賀市で働きやすく、暮らしやすくするため、病院だけでなく、市役所内の全部局で役割分担と連携・協力

## 3 今後の取り組み内容

全庁的な体制により、上記1の取り組みを、継続・拡充するとともに、

- 新病院の事業管理者(予定者)の選任  
⇒早期に予定者を内定
- 寄付講座開設の検討⇒予算化
- 短時間勤務制度等の働きやすく働きがいのある制度の検討と実施

# 県内自治体病院医師給与状況表



## 医師給与状況表

病院名	職員数 (人)	基本給月額 (円)	手当月額 ※ (円)	内 訳				平均年齢 (歳)
				時間外勤務 手当	特殊勤務 手当	期末勤勉 手当(賞与)※	その他	
公立能登総合病院	46	528,942	1,057,602	105,138	416,395	182,327	353,742	45
公立羽咋病院	17	527,931	946,583	12,549	243,828	179,451	510,755	44
公立宇出津総合病院	13	645,811	783,591	-	561,616	146,535	75,440	45
富来病院	6	600,242	800,470	36,591	154,833	190,091	418,955	49
市立輪島病院	17	499,422	897,931	-	632,054	170,142	95,735	43
珠洲市総合病院	14	502,173	883,095	171,446	491,786	153,726	66,137	42
志雄病院	6	550,278	814,806	11,806	160,819	163,875	478,306	46
公立つるぎ病院	12	585,715	771,354	-	134,326	245,208	391,819	52
公立松任石川中央病院	42	572,450	751,815	-	144,954	234,620	372,241	49
加賀市民病院	28	570,893	751,863	6,212	185,573	199,725	360,352	45
小松市民病院	55	808,376	461,290	14,307	133,327	191,450	122,206	45
金沢市立病院	40	613,567	635,095	30,394	72,593	201,898	330,210	45
公立穴水総合病院	12	476,265	770,129	32,626	443,912	165,088	128,503	48
能美市立病院	9	543,019	663,148	991	317,241	176,926	167,991	50
河北中央病院	6	681,042	462,389	2,083	135,278	167,333	157,694	48
石川県平均		603,325	751,987					46
富山県平均		558,257	752,673					45
福井県平均		562,253	885,741					44

※ 手当月額には期末勤勉手当(賞与)の月割り額を含んでいます。

出典: 地方公営企業年鑑(H23年度版)

**【加賀市民病院における救急関連手当(抜粋)】**

・当直勤務手当	日直	20,000円/回	宿直	15,000円/回
診療加算	通常の場合	1,000円/人	重篤な場合	3,000円/人
	緊急手術実施	5,000円/人	※救急搬送はそれぞれ2,000円を加算	
・救急医療勤務手当	通常の場合	5,000円/件	重篤な場合	10,000円/件
	緊急手術実施	14,000円/件		

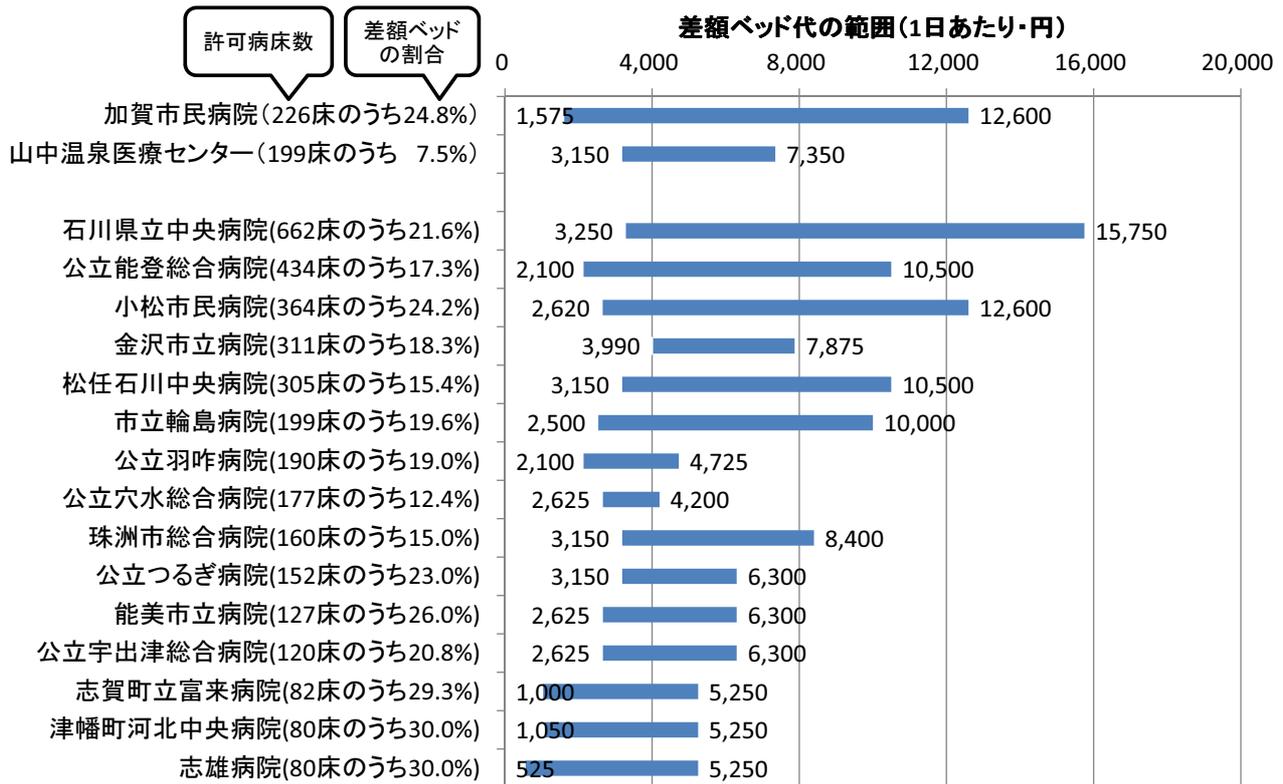
〈参考〉宿日直手当                      宿日直業務1回につき 20,000円

## 差額ベッド代(個室料金)について

### 現病院の差額ベッド稼働状況

	加賀市民病院			山中温泉医療センター		
病床数と徴収金額	個室	12,600円	4床	個室	7,350円	2床
	個室	3,150円	28床	個室	4,200円	1床
	2人室	1,575円	24床	個室	3,150円	12床
	個室	無料	10床	個室	無料	10床
	2人室	無料	4床	2人室	無料	10床
	3人室	無料	60床	3人室	無料	9床
	4人室	無料	96床	4人室	無料	120床
	5人室以上	無料		5人室以上	無料	35床
費用徴収病床割合	226床中56床	24.8%	199床中15床	7.5%		
病院全体の病床稼働率	77.3% (平成24年12月分)			70.8% (平成24年12月分)		
差額ベッドの病床稼働率	66.8% (平成24年12月分)			85.6% (平成24年12月分)		
有料での病床稼働率 <small>(有料での稼働日数計÷差額ベッドの病床稼働日数計)</small>	58.5% (平成24年12月分)			72.3% (平成24年12月分)		
差額ベッド代による収入額 (平成24年度)	24,072,600円			9,967,650円		

# 差額ベッド代の金額 (石川県内自治体立病院)



## 石川県内 自治体立病院の状況

病院名	許可病床数	費用徴収病床数	徴収金額/最多金額(室数)
加賀市民病院	226床	56床(24.8%)	1,575~12,600円/3,150円(28室)
山中温泉医療センター	199床	15床(7.5%)	3,150~7,350円/3,150円(12室)
石川県立中央病院	662床	143床(21.6%)	3,250~15,750円/5,250円(64室)
公立能登総合病院	434床	75床(17.3%)	2,100~10,500円/6,300円(30室)
小松市民病院	364床	88床(24.2%)	2,620~12,600円/4,830円(48室)
金沢市立病院	311床	57床(18.3%)	3,990~7,875円/3,990円(39室)
松任石川中央病院	305床	47床(15.4%)	3,150~10,500円/4,725円(36室)
市立輪島病院	199床	39床(19.6%)	2,500~10,000円/3,500円(25室)
公立羽咋病院	190床	33床(19.0%)	2,100~4,725円/3,150円(21室)
公立穴水総合病院	177床	22床(12.4%)	2,625~4,200円/2,625円(15室)
珠洲市総合病院	160床	24床(15.0%)	3,150~8,400円/4,200円(13室)
公立つるぎ病院	152床	35床(23.0%)	3,150~6,300円/3,675円(20室)
能美市立病院	127床	33床(26.0%)	2,625~6,300円/2,625円(22室)
公立宇出津総合病院	120床	25床(20.8%)	2,625~6,300円/2,625円(17室)
志賀町立富来病院	82床	24床(29.3%)	1,000~5,250円/1,000円(8室)
津幡町河北中央病院	80床	24床(30.0%)	1,050~5,250円/1,050円(16室)
志雄病院	80床	24床(30.0%)	525~5,250円/1,575円(16室)

出典: 東海北陸厚生局・保険外併用療養費医療機関一覧(平成25年7月1日現在)



## 加賀市統合新病院建設計画検証委員会 開催日程について

第1回 委員会 平成25年12月25日(水) 10:00~16:00  
加賀市役所 302・303会議室、現地

第2回 委員会 平成26年 1月24日(金) 13:00~16:00  
加賀市民会館 第2会議室

市民の意見を聴く会 平成26年2月2日(日) 13:30~15:30  
アビオシティ加賀 アビオシティホール

第3回 委員会 平成26年 2月11日(火・祝) 13:00~16:00  
加賀市役所 302・303会議室

第4回 委員会 平成26年 2月17日(月) 13:00~15:30  
加賀市役所 302・303会議室

第5回 委員会 平成26年 2月24日(月) 13:00~15:30  
加賀市役所 302・303会議室

第6回 委員会 平成26年 3月2日(日) 13:00~15:00  
加賀市役所 302・303会議室

・第4回以降の終了時間は見込み。